

## What's New!



FLANN MICROWAVE

### Flann Microwave社の日本総代理店業務を開始致します。

イギリスに本社を置くFlann Microwave社は2~500GHzの周波数体におけるアンテナ・マイクロ波コンポーネントと測定製品の市場をリードしてきた設計・製造会社です。軍事・放送・航空宇宙・通信等の多くの産業分野に高品質な製品とシステムソリューションを提供しています。

#### 【高精度パワーアッテネーター】

“イーサネットコントロールPower over Ethernet (POE) アッテネーター”は試験時間の効率を高め、テスト環境での制御と接続性を向上させます。

Series 624電動可変減衰器は、イーサネット接続を介してコマンドを送信する機能を備えています。この機器はIEEE 802.3afクラス0仕様完全に準拠しており、電源と通信の両方を1つのコネクタで行うことができます。この機器は、実証済みのロータリーベーン原理を使用し、導波管バンド全てにわたって高精度を提供します。

Flann Microwave社の精密回転式ベーン・アッテネーターは、精密な導波管アッテネータの“業界標準”を代表し、卓越した再現性と信頼性を提供します。



#### 【特徴】

- イーサネットコントロール
- 8-100GHzまでのモデル
- 0-50dBのアッテネーションレンジ
- アッテネーション精度：  
<0.1dB又は2%  
(どちらか大きい方)

データシート・その他お問合せは各営業担当 もしくは nyoshimoto@takitek.com までお願いいたします。

Flannのエンジニアは、導波路が何十年にもわたってどのように使用されるかを定義する新しい3つの国際規格の発行を行っています。

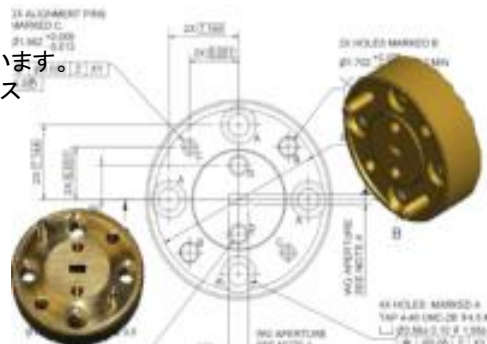
電気電子技術者(IEEE)標準IEEE 1785では、導波管の要件が75GHzから3.3THzに設定されていましたが、以前は330GHz以上で動作する導波管について国際的に合意された規格はありませんでした。新しい標準は3つの部分に分割されています。

パート1(IEEE 1785.1:2012)は、導波管の動作周波数、寸法、公差、および名前を定義しています。

パート2(IEEE 1785.2:2016)は、アライメント精度を保証するための3つの導波管インタフェース(フランジ)設計を提供しています。

パート3(IEEE 1785.3:2016)では、一対の導波管インタフェースの性能を評価する方法が説明されています。

サブミリメートルバンドがますます通信、セキュリティイメージング、リモートセンシングアプリケーションに使用されている現在、この作業は将来非常に重要になります。事実、以前の英国規格、国際電気標準会議(International Electrotechnical Commission)と米国のミルスタンダード(US Mil Standards)は40年もほとんど変わっていません。



Flannのチームは2008年3月に設立されたIEEE標準ワーキンググループと共同で現在まで作業してきました。今回Flannのメカニカルエンジニアが標準で作成したインターフェイス図面が同標準規格に使われたことは、Flannがサブミリ波技術の開発をリードしているという証拠です。

#### 【各種コネクタ】

同軸コネクタ、D-subコネクタ、防水コネクタ、丸形コネクタ等



#### 【高周波部品】

ケーブル、ディバイダー、トランスフォーマー、アンプ、アッテネーター等

#### 【ケーブル・ケーブルASSY】

低損失セミフレキシブル、セミリジッドケーブル、測定用ケーブル等



#### 【測定機器】

PIMDアナライザー、ネットワークアナライザー等

#### 【各種アンテナ】

ホーンアンテナ、スパイラルアンテナ、全方向アンテナ、パッチアンテナ、ダイポールアンテナ、マストアンテナ



#### 【フィルター】

携帯電話基地局向けフィルター、防衛・放送向けフィルター等

